

平成 27 年度第 1 回新宮町地域づくり協議会議事概要

1	会議名	平成 27 年度第 1 回新宮町地域づくり協議会
2	日時	平成 27 年 4 月 28 日（火）午後 2 時～4 時 00 分
3	会場	新宮公民館 2 階視聴覚室
4	出席者	委員 鈴木邦雄、新木博久、石川教子、大岡茂樹、小笠ます子、大西綾夫 出水武美、長尾昇、藤田幸代、三鍋一俊、三鍋公一郎 理事者 篠原市長、総務部長、建設課長、農林水産課長、農業振興課長 観光交流課長、教育総務課長、国体推進課長、総務課長、建設課 2 名 農林水産課 1 名、観光交流課 1 名 事務局（2 名）
5	傍聴者	報道関係 1 名
協議事項等		
1	会議次第	(1) 開会 (2) 委員長あいさつ (3) 市長あいさつ (4) 議事 ① 平成 26 年度事業実績および 27 年度予定事業について ② その他（愛顔つなぐえひめ国体について） (5) 閉会
1	会議概要	(1) 開会 (2) 委員長あいさつ (3) 市長あいさつ (4) 議事 ①平成 26 年度事業実績および 27 年度予定事業について <各担当課より説明> <主な意見> 委員：水ヶ峰地藏付近に、排水管が劣化し道路環境が悪くなっている箇所があるので見てほしい。 理事者：現地を確認したい。全域を巡回するのは難しいので、地域住民の方からの情報提供はありがたい。市内で道路環境の整備が必要な箇所は多数あるが、優先順位をつけて整備を行いたい。 委員：川之江大豊線の工事に係る通行止めについて主要県道なのでなるべく早く通行止め期間を短くしてほしい。 理事者：所管である県に、通行止め期間の短期化について相談したい。 委員：有害獣（シカ、イノシシ、サル）の平成 26 年度の捕獲実績は。 理事者：平成 26 年度では市内全域でシカ、イノシシ、サル併せて 336 頭の実績がある。また、昨年度まで有害鳥獣については窓口が農林水産課と農業振興課に分かれていたが、今年度より有害鳥獣についての窓口を一本化し、農業振興課所管となった。 委員：有害鳥獣の被害を抑えるために、幼獣についても積極的に捕獲するように猟友会の方に指導してほしい。

理事者：幼獣の積極的な捕獲については進んでいない現状なので、猟友会にこの旨を伝えてお願いしたい。

委員：上山地域の老朽化した水路の整備について。

理事者：所管は県になるので、県の担当に相談し、現地確認を行いたい。

委員：狩猟免許試験の講習について、西条で行われているが、受講希望者が多ければもっと近くで開催できるか。

理事者：過去には受講希望者が多い年に三島地域で講習を行ったこともあるので、受講希望者数が多ければ市内開催も可能である。

## ② その他

<国体推進課長より愛顔つなぐえひめ国体について説明>

<主な意見>

委員：公民館単位でのお願いでは情報が行き渡らない可能性がある。この場の委員の方は所属団体の代表をされている方ばかりなので、この情報をそれぞれの団体に持ち帰っていただきたい。

<その他意見・要望等>

委員：建て替えとなる新宮小中学校について、今後新宮小中学校はどのようにすれば活性化するか。

市長：活性化させる具体的な案として、子どもたちを自然豊かな新宮小中学校に通学させたいという保護者がどの程度いるのかアンケートを取ってみてはどうか。一定の要望があるかどうかをすることで、また協議は前に向いて進むのでは。このように新宮地域の活性化のためには、何より新宮地域住民が意欲的に考え協議を行うことが大切である。

委員：成長し過ぎた竹林の問題や、空き家の問題もあり、今後どう新宮地域を活性化させていけばよいか、方法を見出すのは容易ではないが、意欲的に取り組みたい。

その他、委員から新宮地域での高齢者福祉サービスの運営についての要望があり、理事者より、担当課に確認のうえ後日回答させていただく旨の返答を行った。

(5) 閉会